



2022年12月期 決算説明会

株式会社 JMC

証券コード：5704

2023.2.28

- 1 2022年12月期 全社業績概要**
- 2 2022年12月期 事業別業績概要**
- 3 2023年12月期の取り組み**

1 2022年12月期 全社業績概要

2 2022年12月期 事業別業績概要

3 2023年12月期の取り組み

MADE BY JMC

— 新たな成長局面に備えた原点回帰 —

3Dプリンター出力事業



積極的な販促活動

鋳造事業



受注増を見越した生産高効率化

CT事業



新たなサービス提案

“MADE BY JMC”を体現し、
業績に貢献

3Dプリンター出力事業



EOS社と販売代理店契約締結

鋳造事業



新工場棟の建設に着工

CT事業



積極的なメディア展開



3Dプリンター装置販売着手



レストアイイベントを主催



大型サイズ品への対応

事業領域で同業他社を圧倒

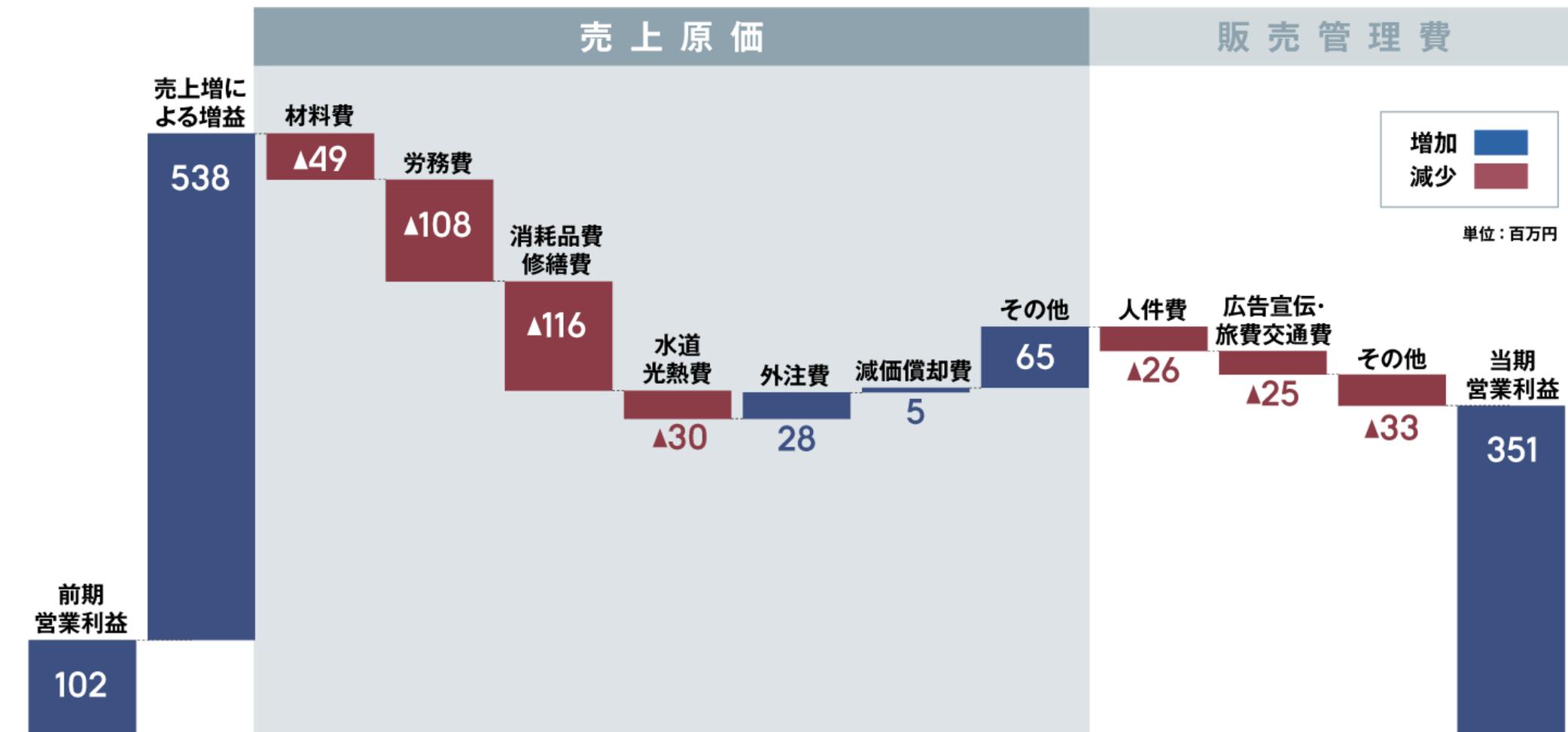
単位：百万円	2022年12月期 修正前見通し	2022年12月期	増減額	増減率
売上高	3,000	2,955	△ 44	△ 1.5%
営業利益	273	351	78	28.6%
営業利益率	9.1%	11.9%	—	2.8P
経常利益	258	381	123	47.8%
経常利益率	8.6%	12.9%	—	4.3P
当期純利益	171	247	76	44.8%

2023年2月に見通し上方修正

2022年12月期 業績ハイライト 前年比

単位：百万円	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率
売上高	2,416	2,955	538	22.3%
売上総利益	877	1,211	333	38.0%
売上総利益率	36.3%	41.0%	—	4.7P
販売費及び一般管理費	775	860	84	10.9%
営業利益	102	351	248	243.5%
営業利益率	4.2%	11.9%	—	7.7P
経常利益	153	381	227	148.1%
経常利益率	6.4%	12.9%	—	6.5P
当期純利益	114	247	133	116.8%

主に鑄造事業の大幅増収・増益により過去最高の業績を達成



- 生産活動が活発化
- インフラコスト高騰
- 社内生産設備の最大活用と外注コスト管理を徹底

- 営業活動が活発化
(旅費交通費・広告宣伝費)
- 積極的な人員確保策を実施
(人件費・採用手数料)

単位：百万円	2021年12月期	2022年12月期	増減額	増減率
流動資産	1,280	1,387	107	8.4%
固定資産	2,527	2,944	416	16.5%
資産合計	3,808	4,332	523	13.8%
流動負債	969	1,039	69	7.2%
固定負債	638	835	196	30.8%
負債合計	1,608	1,874	266	16.6%
純資産合計	2,200	2,457	257	11.7%
自己資本比率	57.8%	56.7%		

【資産】 売上増加により売掛金が増加
固定資産(建設仮勘定)が増加
【純資産】 当期純利益の計上により増加

【負債】 長期借入金が増加

【自己資本比率】 引き続き高水準を維持

キャッシュ・フロー計算書 サマリー

単位：百万円	2021年12月期	2022年12月期	増減額	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	456	600	144	31.6%
固定資産の取得による支出	△ 140	△ 631	△ 491	△ 350.3%
その他	28	2	△ 25	△ 90.2%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 111	△ 629	△ 517	△ 463.3%
短期借入金の純増減額（△は減少）	-	△ 200	△ 200	-
長期借入れによる収入	-	470	470	-
長期借入金の返済による支出	△ 136	△ 136	△ 0	△ 0.3%
セール・アンド・リースバックによる収入	-	32	32	-
リース債務の返済による支出	△ 113	△ 134	△ 20	△ 18.4%
その他	△ 10	△ 2	8	80.1%
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 260	29	289	111.1%
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	84	0	△ 83	△ 99.6%
現金及び現金同等物の期首残高	222	306	84	37.9%
現金及び現金同等物の期末残高	306	306	0	0.1%

営業活動によるキャッシュ・フロー

当期純利益の計上などにより増加

投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産取得により支出増加（建設仮勘定）

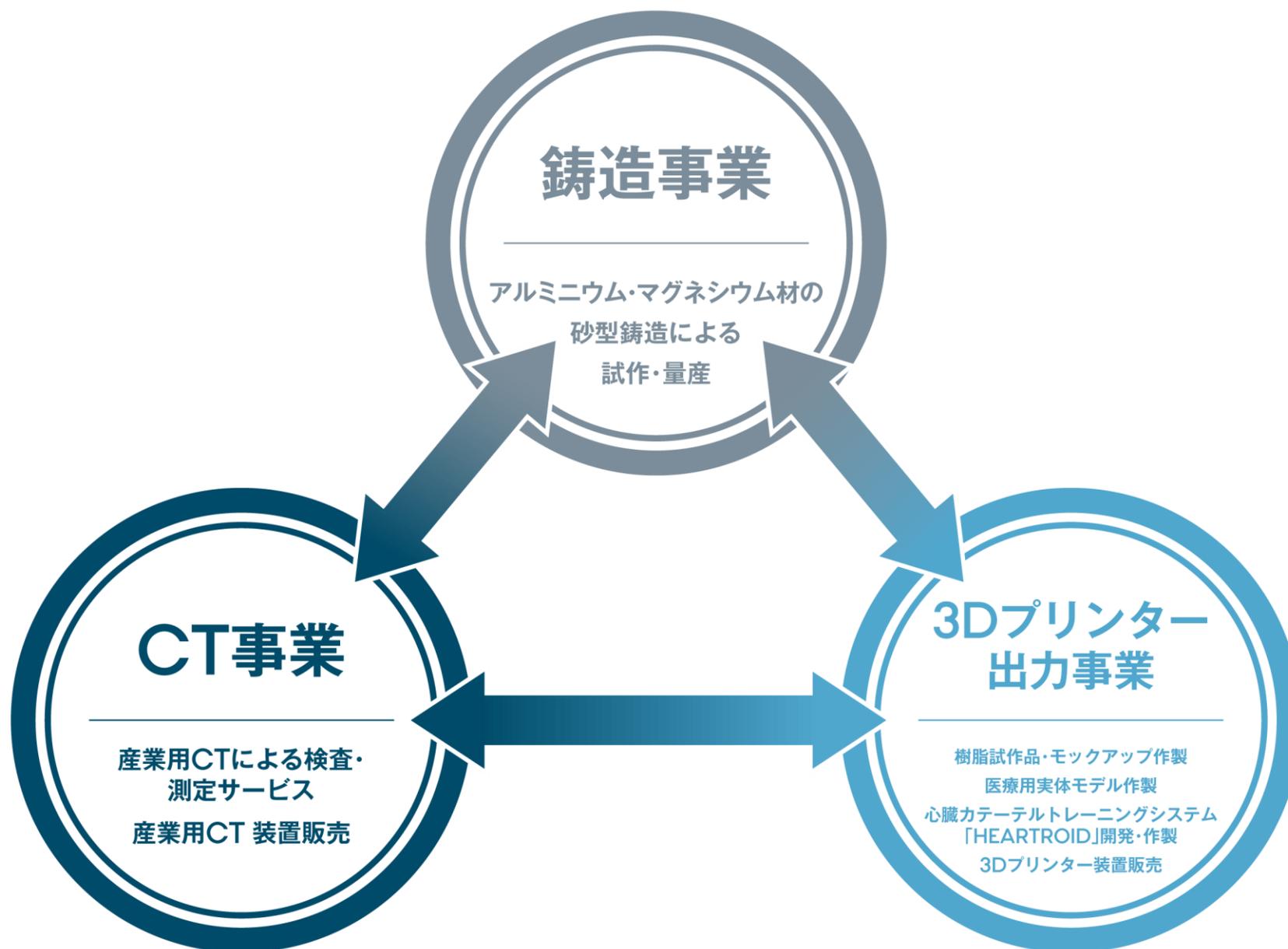
財務活動によるキャッシュ・フロー

新工場棟建設に伴う資金調達により増加

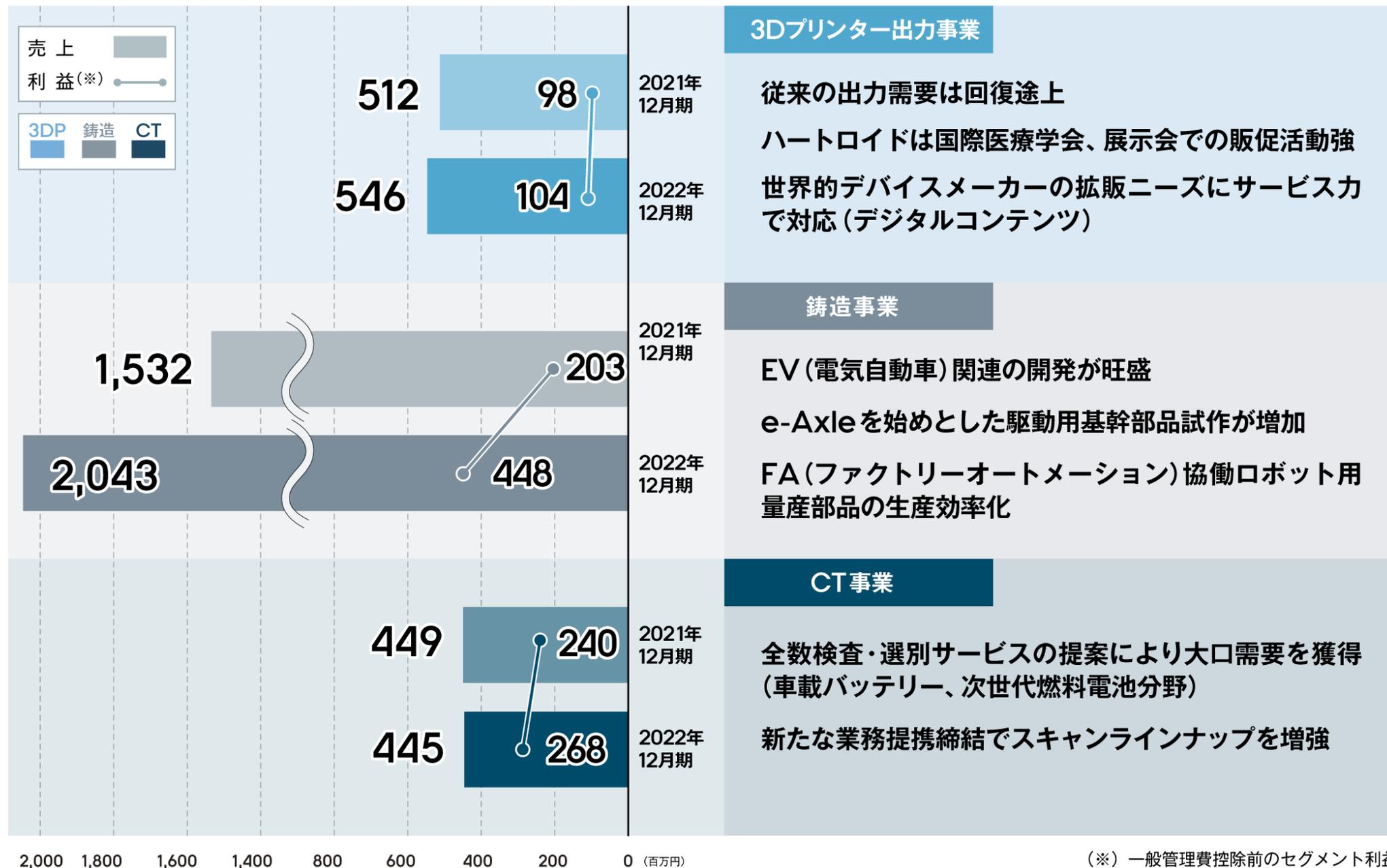
1 2022年12月期 全社業績概要

2 2022年12月期 事業別業績概要

3 2023年12月期の取り組み



単位：百万円	売上高				セグメント利益			
	2021年 12月期	2022年 12月期	増減額	増減率	2021年 12月期	2022年 12月期	増減額	増減率
3D プリンター 出力事業	512	546	34	6.6%	98	104	5	5.6%
鑄造事業	1,532	2,043	510	33.3%	203	448	245	120.9%
CT事業	449	445	△ 3	△ 0.7%	240	268	27	11.5%
その他	△ 77	△ 80	2	3.2%	△ 440	△ 470	△ 29	△ 6.8%
損益計算書 計上額	2,416	2,955	538	22.3%	102	351	248	243.5%



3Dプリンター出力事業

従来の出力需要は回復途上

ハートロイドは国際医療学会、展示会での販促活動強
世界的デバイスメーカーの拡販ニーズにサービス力
で対応 (デジタルコンテンツ)

鋳造事業

EV (電気自動車) 関連の開発が旺盛

e-Axle を始めとした駆動用基幹部品試作が増加

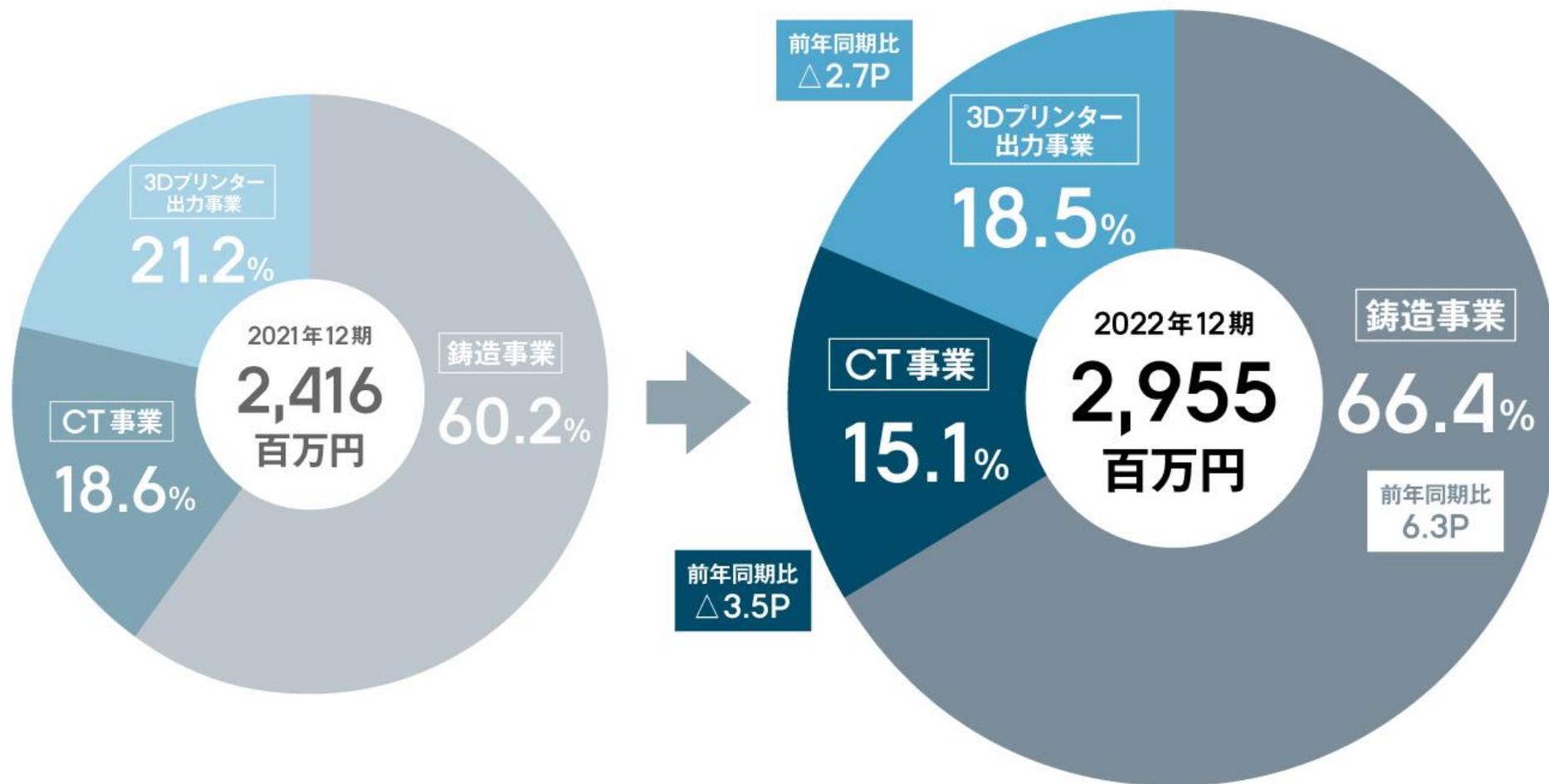
FA (ファクトリーオートメーション) 協働ロボット用
量産部品の生産効率化

CT事業

全数検査・選別サービスの提案により大口需要を獲得
(車載バッテリー、次世代燃料電池分野)

新たな業務提携締結でスキャンラインナップを増強

(※) 一般管理費控除前のセグメント利益

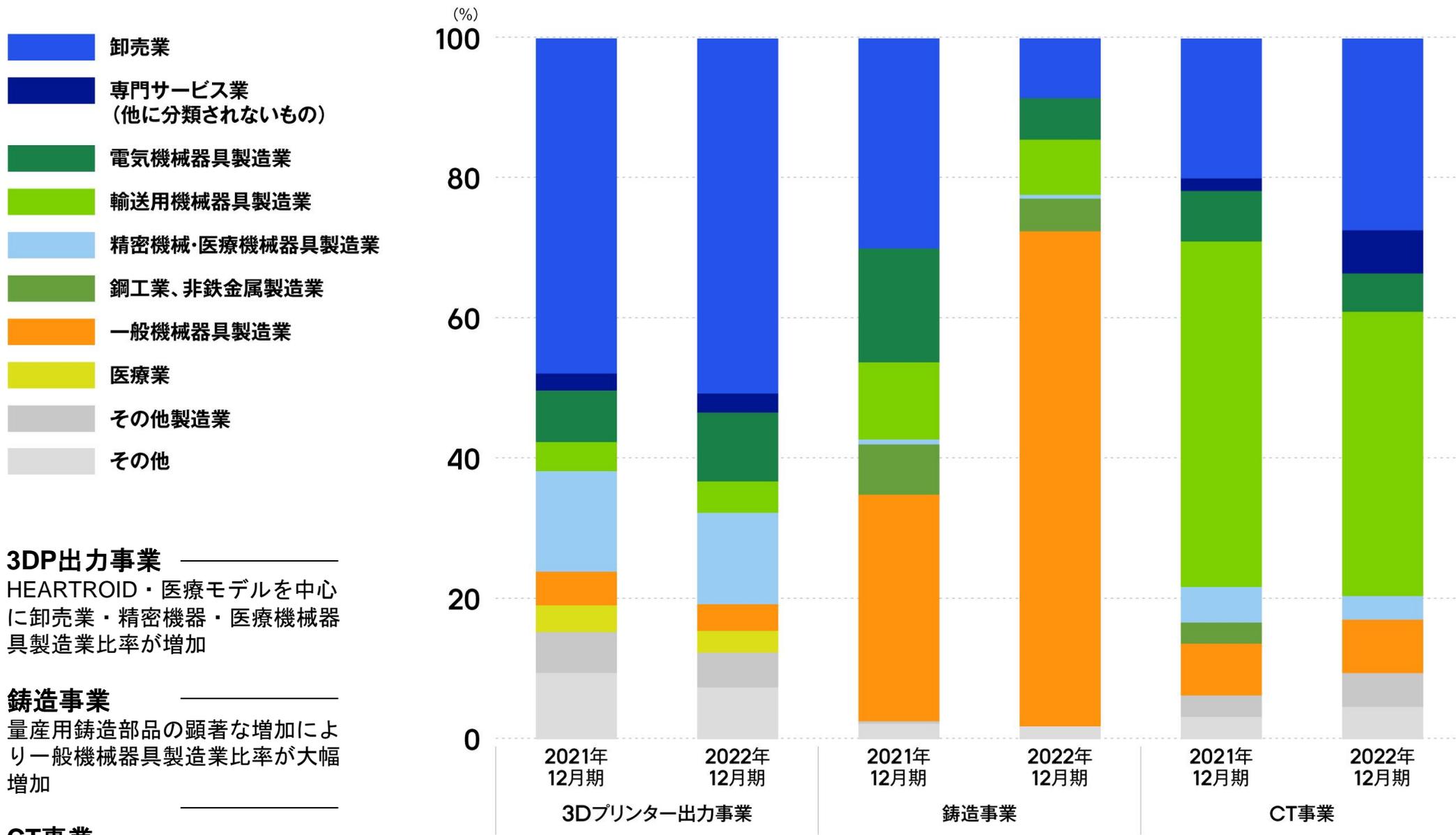


(注) 外部顧客への売上高の比率

2021年12月期

2022年12月期

産業別売上高比率



3DP出力事業
HEARTROID・医療モデルを中心に卸売業・精密機器・医療機械器具製造業比率が増加

鋳造事業
量産用鋳造部品の顕著な増加により一般機械器具製造業比率が大幅増加

CT事業
選別全数検査案件を獲得したことで卸売業比率が増加

- 1 2022年12月期 全社業績概要
- 2 2022年12月期 事業別業績概要
- 3 2023年12月期の取り組み**

MADE BY JMC

— ^{ここ} JMC にしかない量産 —

開発試作からダイレクトに量産へ

こだわりをカタチにできる量産

ブラッシュアップしつづける量産

**ものづくりとサービス領域の拡大で
事業の成長と基盤安定化をさらに推進**

単位：百万円	2022年12月期	2023年12月期	増減額	増減率
売上高	2,955	3,370	414	14.0%
営業利益	351	420	68	19.6%
営業利益率	11.9%	12.5%	-	0.6P
経常利益	381	405	24	6.2%
経常利益率	12.9%	12.0%	-	△ 0.9P
当期純利益	247	260	13	5.0%

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

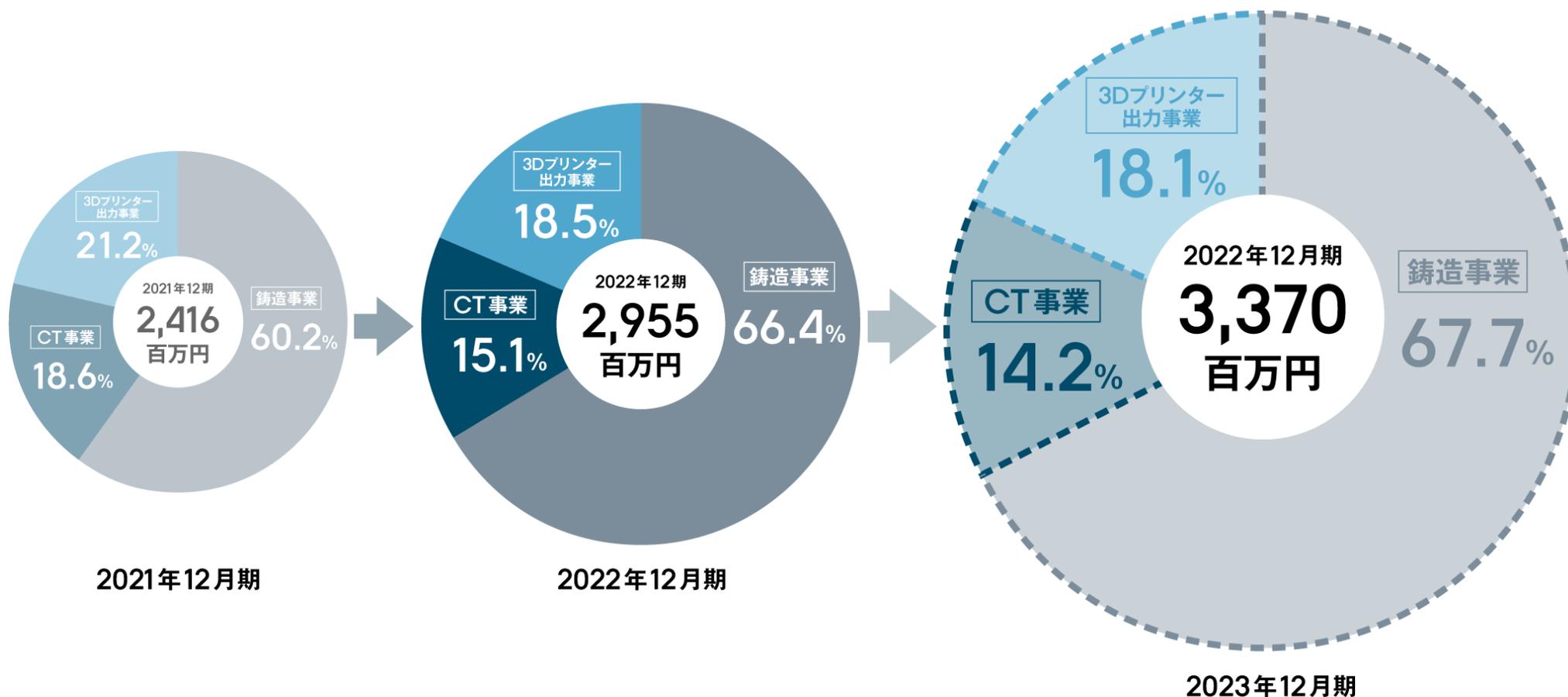
※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」を適用。

2023年12月期 セグメント別見通し

単位：百万円	売上高				セグメント利益			
	2022年 12月期	2023年 12月期	増減額	増減率	2022年 12月期	2023年 12月期	増減額	増減率
3D プリンター 出力事業	546	610	63	11.7%	104	120	15	15.2%
鑄造事業	2,043	2,280	236	11.6%	448	492	44	9.9%
CT事業	445	480	34	7.7%	268	312	43	16.1%
その他 (内部取引)	△ 80	0	80	—	△ 470	△ 504	△ 34	△ 7.3%

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

※2022年12月期より「収益認識に関する会計基準」を適用。



(注) 外部顧客への売上高の比率

最小肉厚
2.0mm

大型サイズ
1,300mm

中子を使用した
複雑形状の
量産

大型鋳物
月産2万台の
キャパシティ

自動化設備を導入したアルミ・マグネシウム鋳物の量産

JMCが従来から取り組む「フラン自硬性砂型」で高品質な製品を提供



▲ 2022年12月現在 建屋完成



▲ 設備搬入状況の一例

試作品との混合生産から量産品の生産を
物理的に分離

“MADE BY JMC”を 実現する施策を各事業で展開

3Dプリンター出力事業

鋳造事業

CT事業

3Dプリンターを用いた量産 (Additive Manufacturing) 受注



自動車用内装部品



産業機械制御モジュールケース

- ☑ 「一品もの」の試作品から量産造形へ、事業領域を拡張
- ☑ 並行して高い要求品質にも対応(IATF16949準拠)

砂型鑄造による非鉄金属部品量産本格化



協働ロボット用部品



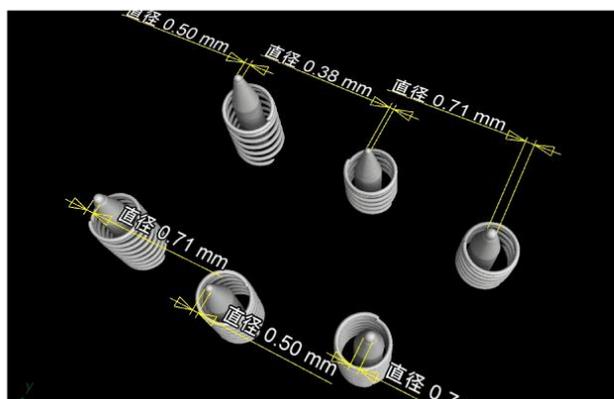
年間数量：合計7万点以上



予定期間：3年以上

- ☑ 従来の試作ノウハウに「トヨタ生産方式」の概念を投入した量産体制
- ☑ 非鉄砂型鑄造で国内最大級の工場が稼働開始予定
- ☑ 高品質なものづくりには ISO9001・JIS-Q9100規格のノウハウ活用

CTスキャンサービス ボリュームとサイズの領域拡大



全数検査・選別ニーズをさらに
拡大 (1,000個/日の実績)



装置・人員の最適化により緊急
の依頼も受け入れ



スキャン方法のラインナップも
増強を検討

- ✓ 様々なスキャン対応で獲得したノウハウ&サービスを新たな顧客層へ展開
- ✓ ニッチ・トップ事業の拡張に向け、スキャンバリエーションを拡充

自社プロダクトで B to C の領域へ

JMC BASE (レストラン)

HEARTROID

CT事業

JMC BASE (レストア)

鋳造技術で価値ある復元



JMC HEAD Ver.JP
開発・製造



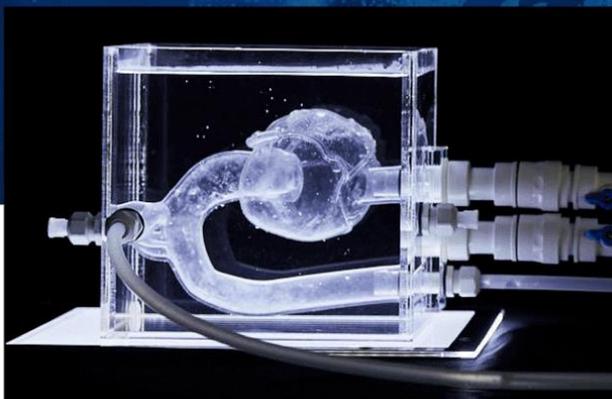
JMC主催の
“レストアMeeting” 継続



よりクラシカルな分野へ展開

HEARTROID

海外での販促活動に一層注力



心臓モデルは累計約270台を
販売（世界約30の国と地域）



2023年12月期は
9カ国12地域で販促活動計画



3Dトレーニングシミュレーターの
医療教育分野への浸透強化

CT事業

CT生物図鑑をきっかけに有名企業との コラボレーションが実現



(株)NHKエンタープライズ
(株)バンダイ
(株)講談社
など

「JMCならではの」の事業領域、ノウハウ、対応力を活かし、個人まで届く
商品・サービス展開およびブランド浸透を進める

Appendix



- [会社名] 株式会社JMC
- [設立] 1992年12月18日
- [資本金] 787,529千円
- [上場市場] 東京証券取引所グロース (5704)
- [従業員数] 165名 (臨時雇用者数を含む 期末日時点)
- [代表者] 代表取締役社長兼 CEO 渡邊 大知
- [本社所在地] 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

www.jmc-rp.co.jp





コンセプトセンター

長野県飯田市
鋳造事業



コンセプトセンター

長野県飯田市
鋳造事業、CT事業



ミーリングセンター

静岡県浜松市浜北区
鋳造事業



本社

神奈川県横浜市港北区
3Dプリンター出力事業
CT事業



AMセンター

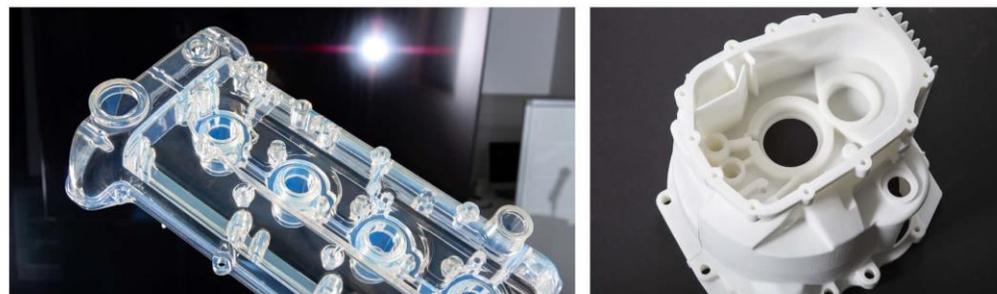
神奈川県横浜市港北区
3Dプリンター出力事業





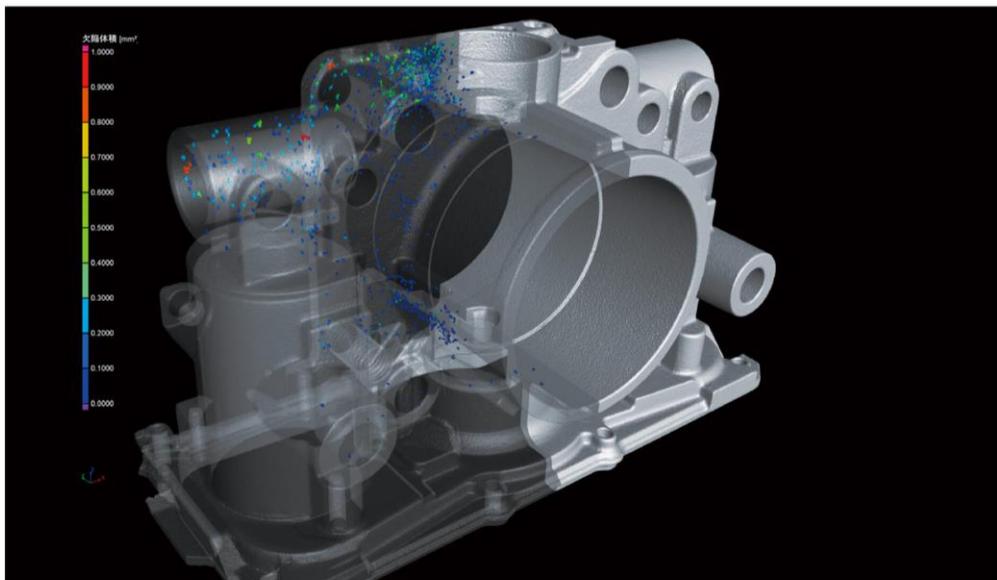
鑄造事業

精密砂型鑄造による試作、量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



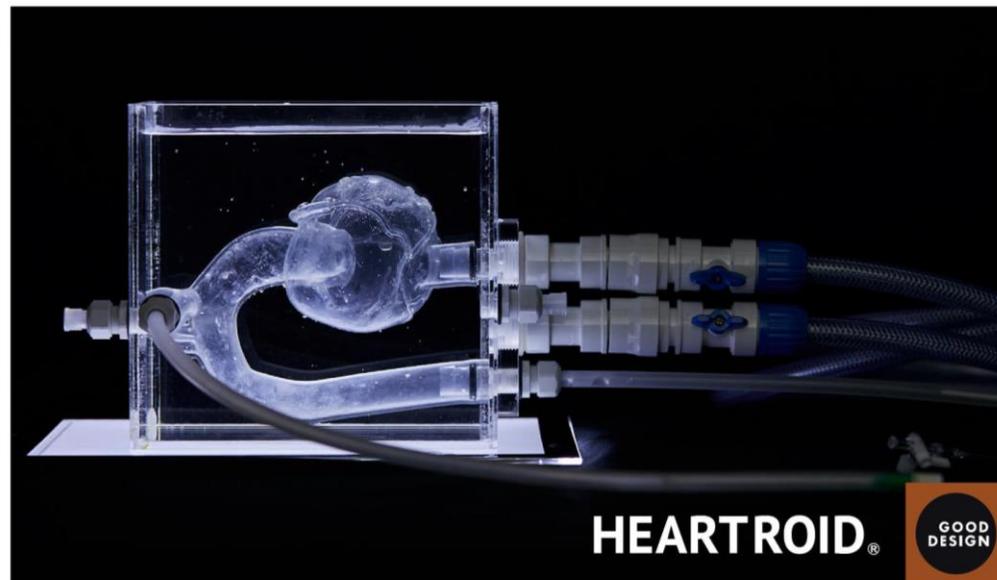
3Dプリンター出力事業

工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。



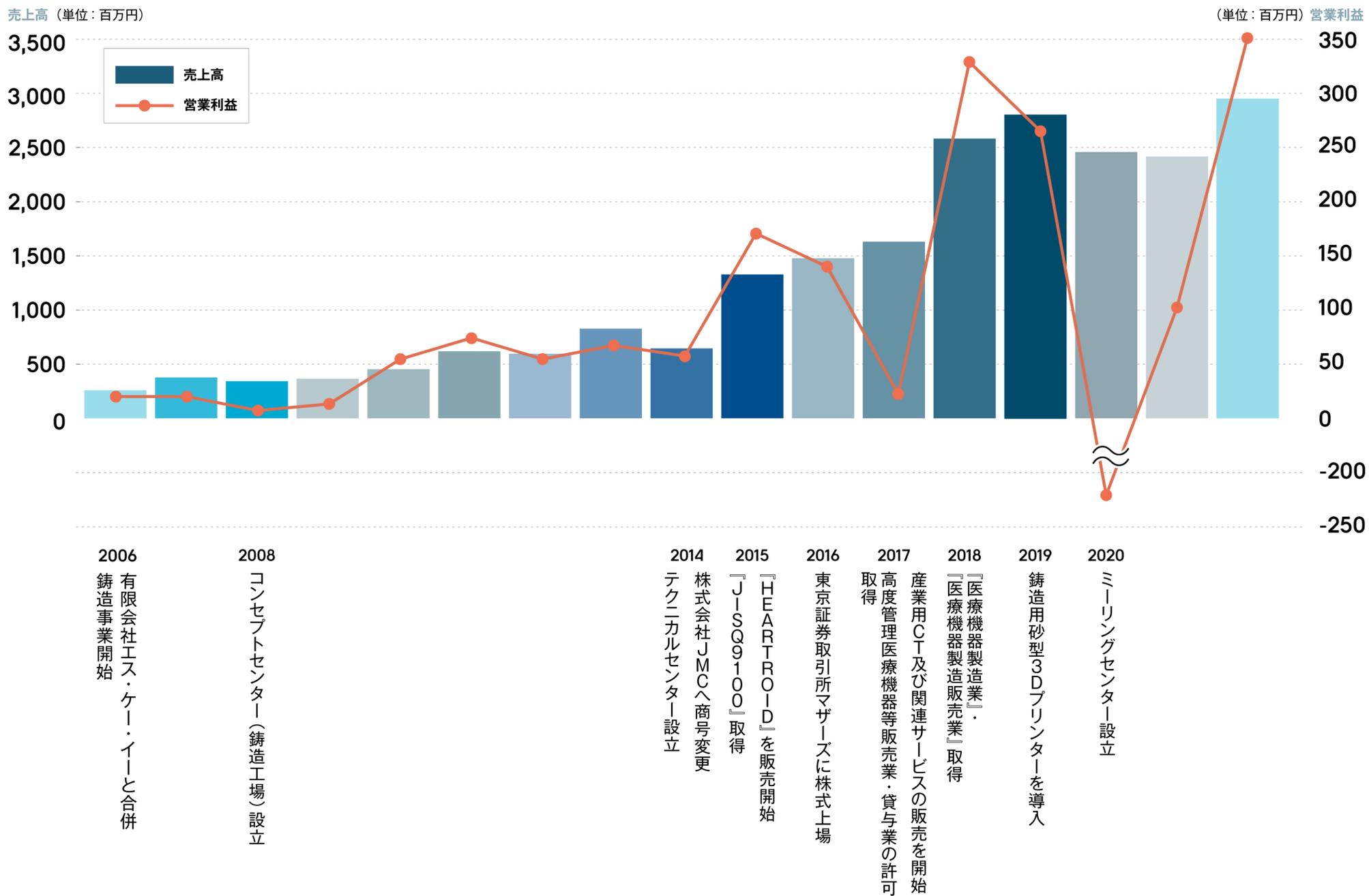
CT事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。



メディカル

心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。



JMCサービス案内



JMC コーポレートサイト
jmc-rp.co.jp/



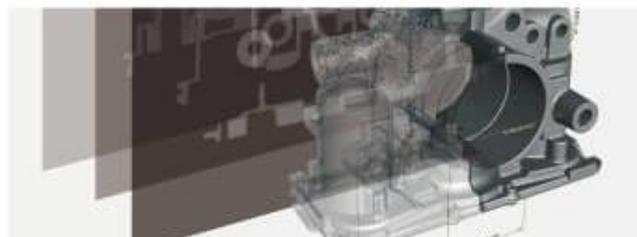
3Dプリンター出力サービス
3d-printout.com/



AM専門サイト
3d-printout.com/am/



鋳造専門サイト
metal-casting.jp/



産業用CTスキャンサービス
jmc-ct.jp/



HEARTROID
heartroid.jp/



JMC BASE
jmcbase.com/



CT生物図鑑
ctseibutsu.jp/



3DiH Printer
3dih.jp/printer/



本説明会および説明資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。

将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。

また、本説明会および説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでいるため、実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

本資料中に記載されているロゴ・会社（機関）名・製品名は、各社（機関）の登録商標または商標です。

◆本件に関するご連絡先◆

株式会社 J M C 経営企画室

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 5 号

電話番号 : 045-477-5751 E-mail : ir@jmc-rp.co.jp